

第3回小学校部会要旨録

1. 開催日時	平成30年10月24日(水) 14:00~15:25	
2. 場 所	小矢部市役所3階 第2委員会室	
3. 出席委員	教育長職務代理者 教育委員 小矢部市自治会連合会代表 小矢部市PTA連絡協議会副会長 小矢部市女性団体連絡協議会会長 小矢部市商工会会長 小矢部市民生委員児童委員協議会代表 小矢部市小・中学校長会会長 小矢部市社会教育委員会議議長 社会福祉法人小矢部市社会福祉協議会会長 公募委員	古村 正明 西永 勉 松本 信明 高嶋 成幸 嶋田 幸恵 新明 政夫 松本 陽子 笹島 康代 高橋 久雄 日光 久悦 山崎 勇
オブザーバー	富山国際大学子ども育成学部教授	仲井 文之
4. 事務局	教育長 事務局長 教育総務課 次長兼課長 課長補佐 主査 指導主事	野澤 敏夫 砂田 克宏 間ヶ数昌浩 瀧田将一郎 本田 和裕 吉倉 哲夫
5. 会議次第	(1) 開会 (2) 部会長あいさつ (3) 協議 ①地域の教育資源の活用について ②学校関係団体の状況について ③地域コミュニティにおける学校の役割について ④防災面での役割について ⑤市民の学校施設(教育センターを含む)の利用状況について ⑥その他	

6. 開 会	
	<p style="text-align: center;">【進行 部会長】</p>
事務局	<p>協議事項 1 「地域の教育資源の活用について」、 協議事項 2 「学校関係団体の状況について」 協議事項 3 「地域コミュニティにおける学校の役割について」</p> <p>事務局説明</p>
	<p style="text-align: center;">【質疑なし】</p>
事務局	<p>協議事項 4 「防災面での役割について」</p> <p>事務局説明</p>
委員	<p>確認ですが、防災は大切なのですが、例えば学校を統合したとして、いらなくなる学校は、法律では必ず壊さなければいけないから残さない、又は統廃合をしたけど校舎はいろいろな角度から考えて今後防災のために名称を変えて残しておくということもできなくなるから、いま話題としているのでしょうか。もし防災のことを考えれば、統合したとしてもその建物を活かして良いということであれば、それはそれで考えていけばよいような気がします。統合と防災面で支障をきたすということとは別ものとして考えてはいけないものなのですか。小学校というのは、教育関係で使わなければ壊すべきだという決まりがあるからなののでしょうか。</p>
事務局	<p>これまで3回に亘りまして、学校を取り巻く様々な観点からの現在の状況を、委員の皆様にお伝えしました。防災面における避難収容人数の確保を考えると、それを減らすような学校の再編はできないのではないかと、ということになります。そういうような事実も考え併せていく中で、最終的には小矢部市の将来を担う子どもたちにとっての教育がどうあるべきかを考えていただきたいと思います。昨日の中学校部会でも同じご意見をいただきました。「いろいろな観点の資料を1つ1つ吟味していくと、学校統廃合には様々な困難な課題が生じ、統廃合の議論に行き着けなくなりかねないので、改めて子どもたちの教育がどうあるべきかという原点に立ち返って、</p>

	<p>もう一度審議を進めていくべきではないか」というようなご意見もいただきました。事務局としては、統廃合を考える上では、いろいろな観点があるということ、まずは委員の皆様にお知らせしておくことが必要であり、かつ大事であるということから、3回に亘ってお示ししたところです。</p>
<p>委員</p>	<p>11 ページにありますように、埴生地区に関わる学校は 19 番から 23 番まであります。台風 19 号の時に強く頭のなかに残っているのは、私の住んでいる野端の住民は、避難場所として文化スポーツセンターへ行けばよいということは分かるのですが、地域ごとに避難場所が細分化されていて、逆に都合が悪いようにも思われます。実際、台風 18 号が来た際に、自主避難ということでしたが、公民館に来てしまった方は「石動小学校へ向かって下さい」と言われました。地域住民の方は「自主避難だから、今回の場合は石動小学校へ向かう」という判断がなかなかできないです。公民館担当の者も、どこの町内の方がどこへ行けばよいのか分からないです。教育委員会の直接の担当では無いかもしれませんが、すべての方が分かるように、何か情報を提示していただけたらと思いました。</p>
<p>事務局</p>	<p>災害発生の際に、ここに書かれているすべての避難所が開かれるということではありません。防災の担当課のほうで、災害の種別と程度に応じ、適切な避難場所の判断をしたうえで、市民の方にケーブルテレビ、ホームページ、防災無線等いろいろな手段を使いながら、お知らせをしている状況です。確かに、何か災害が起きたときに、市民の方から見れば、どう行動し、どう判断すればよいのか、なかなか分からない場合があるかと思われます。周知の仕方がどうあるべきかも含めて防災担当課に申し伝えたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>協議事項 5「市民の学校施設(教育センターを含む)の利用状況について」</p> <p>事務局説明</p> <p>【質疑応答なし】</p>
<p>事務局</p>	<p>18 ページ「放課後児童クラブについて」</p>

	<p>事務局説明</p> <p>【質疑応答なし】</p>
部会長	<p>これまでの部会を踏まえて、委員1人1人からご意見をお願いします。</p>
委員	<p>今日の協議事項の中心になると思いますが、地域の中で児童生徒の取り組みが根付いているのを見て取れました。もしこれが統合になったときに、築いてきたものが無くなるという形が出てくると思います。私も小学生の子どもがいますが、昔ほど地域の方に親しみがないということ先生や地域の方から聞きます。統合をしたときに今まで親しんできた地域から離れてしまった所に行かなければいけなくなった場合に、なおさら自分の地域での活動が減るのではないかと思います。もっと地域離れが増えるのではないかと思います。事務局より説明がありましたが、教育の面を大事にするということ考えたときに、学校では組織の中で生きていく力を身につけていきますけれども、生活の中で地域とつながって成長する部分というのは欠けてしまうのかなと思います。その点がとても不安に感じています。</p>
委員	<p>これまでの議論や説明のなかで、ある程度小中学校統廃合は「ありき」という形で、いろいろな面から話が出ているように思います。社会状況も変わってきていまして、環境なり、子どもの成長していく過程もそうです。若い先生など、教育をしておられる現場の方や親御さん等に意見を聞く機会が必要ではないかと思います。今日の状況で、学校と地域だけでなく、地域の中で子どもたちを親と共に協力してどのように育んでいけるのかということを総合的に判断していかなければいけない、という思いであります。私が子どもを育てていたときの環境とは違いますので、いろいろな状況やご意見をお伺いしたうえで総合的な判断をする時期が必ずくると思っております。</p>
委員	<p>1回目、2回目の説明では子どもたち、現場の先生等が一番良い状態が何かということで考えていました。私はどちらかというと同</p>

	<p>合をすればよいという考えなのですが、今日の会合によって、難しい面があるということも分かりました。難しい面は、どちらかという現場の子どもの問題ではなくて、周りの親の事情のような気がします。今日の説明を聞いて、やっぱり現場の子どものたちのことを考えていくのが一番大切だと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>今日の説明を聞いて、私も公民館に携わっているものですから、統廃合されたら、これから公民館の行事の運営の仕方、在り方というのを、もっと考えなければならぬと思いました。保育所から小学校中学校まで、ほぼ同じ顔ぶれでずっと過ごしていますが、それが統廃合されたらどうなるのであろうかと思いました。それから公民館側から考えたら、公民館祭り等は地区の子どもたちに来てもらって、いろいろなアトラクションをしています。それらもどうなるのであろうかと思いました。そのようなことから、簡単に統廃合をすることはどうなのだろうかと考えております。</p> <p>それともう1点、17ページに学校施設の曜日別利用状況が示されていますが、大谷小学校が平日なのになかなりの数字がでております。これはどういうことなのでしょう。例えば石動小学校や東部小学校は、時間別延べ利用が平日が0になっているところが多いのですが、大谷小学校に関しては、月曜日が2、火曜日が41となっています。平日は学校が授業をしているはずなのに、41というのはどういうことなのでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>例えば早朝野球に使用された場合は午前中の使用回数に含まれております。また、夕方に使用されている場合も大谷小学校は多かったのです、このような数字になっております。</p>
<p>委員</p>	<p>授業中ではなく、早朝、放課後の使用が含まれているということで分かりました。</p>
<p>委員</p>	<p>この統廃合審議会を設置した狙いは、現状では満足していないということなのでしょう。満足していないのは、どこなのか具体的にもう少しお話をいただければよかったですかなとっております。まずは学校や児童生徒の質を上げることが教育の目的ですから、当然、地域のこともあるわけですが、現状はだめだからこの審議会を開いて意見を聞くのか、文部科学省が言っているからこの通</p>

	<p>りであるのか。</p> <p>黒部の統廃合にもありましたように、先生の人数が大幅に減ります。それが果たして良いのか、それでも良いから統廃合をするのか、どうなのでしょう。</p>
委員	<p>自分のなかに2つの相反する気持ちがあることを自覚しております。</p> <p>1つは学校の統廃合の問題がでてきた背景には、1つに子どもの数が減っており、部活等の教育活動がなかなか展開されにくい状況にあることです。私たちが子どもたちを学校に通わせる理由は、家庭の中で育てられない社会性を集団の中で育てるという大きなものがあると思います。もし子どもの数が減っていったら、教育効果が無いとなれば、どうしても統廃合は必要なのだろうと思います。しかし、私の中では、できるだけ少なくしたいな、という気持ちがあります。</p> <p>2つ目には、地域の中にも教育力がありまして、地域の中で子どもたちを育てているわけで、やがて地域を支える人材として、地域と結びつけながら多くの方々と子どもたちを見守って育てている環境があります。こういったわけで、地域のことも考えていかなければいけないと思います。</p> <p>その中で主となるものは、最初に申しあげました学校の教育機能だと思っております。後に申しあげたものにつきましては、示された資料のなかで、ここは考えていかなければならないということを加味しながら、今後の問題を考えていきたいと思っております。</p>
委員	<p>先日、東部小学校の学習発表会の時に、校長先生から嬉しいお話を聞きました。確定かどうかは分かりませんが、現在東部小学校はちょうど100人であり、来年度も100人を維持できるようなことを校長先生はおっしゃっていました。考えてみますと日本全体が、今、縮小に向かっております。小矢部市だけが減っているわけではないわけです。そういう意味では世界的に見れば21世紀日本は、先進国の中でただ1つ最高の人口減少率を見せているわけです。20世紀、日本は先進国の中で最高の人口増加率でした。あまりにも急激な差が小矢部市にも出てきているということです。市議会の議員さんの方々が小矢部市長に対して、小中学校の統廃合を進めるよう申し入れしたのを受けて、市長がこの審議会を設置されて諮問された</p>

と思っているのですが、そういう流れの中で統廃合の議論が出てくるのだと思っています。

私の信条は2つありまして、1つ目に教育は損得勘定だけで計っては絶対にだめであるということです。なぜなら、子どもたちは自分が決める立場ではないからです。国民の1人としては、全く問題は無いのですが、子どもには選挙権がまず無いです。そういう子どもたちのことを私たち大人が決めなければいけません。そうするとそのときには損得だけで決めてよいのかという問題が非常に大きいと思います。

2つ目ですが、少人数になるとあまり競争が働かず、切磋琢磨が弱くなるとおっしゃる方がいます。しかし多人数になると競争して、切磋琢磨して良くなるとすれば、先生は何の役割を果たすのかということになります。教師というのは、非常に重要な役割であると思いますし、日本の教育はそもそも複式学級から始まったと言われてもおります。複式学級にしろと言っているわけではないのですが、多人数学級じゃないとだめだというわけではないと思います。1回目、2回目の部会で思いもよらない角度からの資料もたくさんいただきましたので、また見直しをして次の会合に臨んでしっかりとした意見を述べられるようにしたいと思います。

委員

本日の資料をいただきまして、地域というものをどう捉えてよいのかなと正直思いました。地域で子どもを育てると言いますが、地域ってどの範囲を地域として考えればよいのかなと。様々な地域の捉え方があるなと感じました。それと今までのものを踏まえてですが、家庭で育てるべきこと、地域で育てるべきこと、そして、学校で育てるべきことがあるということを確認いたしました。そして私はやはり、目の前の子どもたちの育ちということを考えて、もう一度この問題についてしっかり見ていかなければいけないということで、1回目の資料をもう一度時間をとって振り返りたいなと思っています。

委員

今私は、この審議会という組織の中に入っており、この集まっている組織で統廃合の結論をあげていくわけですが、何か別の組織の皆さんの意見も聞きながら検討していかないとしこりが残りそうだなと思います。例えば親であるとか、専門家であるとか、あるいは魚津や黒部の先行された地域であるとか、があると思います。こ

	<p>こだけの結論で決めるのも1つの思惑ではあるのかもしれませんが、何かそれ以外の意見も聞きながら盛り上げていくような方向でないといけないような気がします。より多くの方の幅広い意見を聞くように、何か工夫して吸い上げていった方が、結論の見出し方がわかりやすくなっていくのではないかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>この審議会は、スタートから「統廃合ありきではなくて、児童生徒の教育条件、教育環境等を改善するということで進める」ということを、事務局はお話されていたかと思えます。先ほど総合的にというお話もありましたが、今日もいろいろな面で総合的に判断するための資料であったと思えます。児童生徒の教育条件や教育環境を、現場を経験した立場から言えば、学習指導方法の改善にどうつながっていくのかというようなことをもう少し深められたらよいのかなと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>統合をすることによって子どもたちの教育活動がどうなるのかという先の姿と、現実に地域の中に存在する学校の意味合いをどう考えていけばよいのかと思っております。逆に言えば、事務局ではそういったところもしっかりと目を向けて、この会議を進めてほしいと考えておられることを感じながら資料を見させていただいており、ありがたく思っております。また、それらを見ながら、会議の中でどのように協議を進めていくのか、この先を考えていく責任の重さというものを非常に強く感じております。学校を統廃合するということは、5年、10年先ではなく、もっと先のことを考えていかないとはいけません。目先のことだけにとらわれてどうするかということではないわけです。もっと先のことも想定しながら、結論を出していかなければいけないと思っております。</p>
<p>部会長</p>	<p>3回に亘って、幅広く資料を提供していただきました。学校の施設面、学習面、地域との関わりの3つの視点からの資料でしたが、これらを踏まえて単に統合の形を議論するのではなく、幅広く課題を見ていかなければいけないと思っております。統合することによってメリット、デメリットがあります。それらを踏まえてどのような結論に至っていくのか、我々の責任は重いと思えます。</p>
<p>事務局</p>	<p>【第2回要旨録について事務局説明】</p>

	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見等ありませんか。</p> <p>【質疑応答なし】</p> <p>部会長 他にありませんか。 それでは、お諮りいたします。 要旨録をホームページにて公開することに異議ありませんか。</p> <p>【異議なしの声】</p> <p>第2回小学校部会の要旨録の公開については、承認されました。 そのほか、部会運営などについてご要望等がありましたらご発言をお願いいたします。</p> <p>委員 今後どのような方向性やスケジュール等でいくのかが分からないので教えていただきたいです。</p> <p>事務局 今まで3回に亘りまして、いろいろな観点からの資料をお出ししました。今後、どのように進めていくかについてですが、現状の状況についての資料提供は一段落したものと考えております。これからは改めて実際の適正規模・適正配置について考えていかなければいけないと思っております。12月に全体会を開催させていただき、県内の実例もお示ししながら、新たな制度である小中一貫校や義務教育学校について、委員の皆様にも説明申し上げたいと考えています。また今後予定している学校現場、PTA、地域の皆様との意見交換会をどのように進めるかについて、次回の全体会の中で協議いただきたいと考えております。その次の段階として、具体的な再編のパターンについて、比較検討を行い、協議を進めていただければと思っております。</p> <p>委員 本日説明のありました防災についてですが、避難所は77カ所あります。防災士の観点で言うと、どの地区でも避難所として小学校が使われていますが、避難の際、学校は大人も子どもも身体を動かすのに使えるので、最終的には空けておいてもらいたいという思いです。これを見ると77カ所どこへも避難できるということになる</p>
--	---

	<p>かもしれませんが、それぞれの地区に避難所としての学校がないといけないという考え方はベターではないと思います。今後ますますそういう考え方ではない方向にいかねばいけないと思っております。</p>
事務局	<p>【次回日程案説明】</p> <p>【委員了承】</p>
教育長	<p>これまで3回に亘りまして、いろいろな観点からの資料を出させていただきました。膨大な資料のため、長時間の説明となりましたが、たくさんのご意見をいただきました。ありがとうございました。今ほど今後の予定について説明がありましたように、いよいよ具体的なあり方について、議論が本格化していく段階に入っていきます。皆様のご意見を具体的なものに積み重ねていくこととなります。今後ともよろしくお願いいたします。</p> <p>【閉会】</p>